

寅さん歩 その26

東京の主要道路の起点～終点

井ノ頭通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」と歩いてきました。

今回は「井ノ頭通り」を歩いています。井ノ頭通りは渋谷区JR渋谷駅前のスクランブル交差点を起点に、小田急線 代々木上原駅、JR中央線 吉祥寺駅を経てJR中央線 武蔵境駅北の五日市街道の関前五丁目交差点に至る延長約17kmの道です。写真右上は井ノ頭通りの道路名標識（都道7号線）です。これから通過する環八井の頭交差点から都道413号線が都道7号線に変わります。井ノ頭通りは「水道道路」と呼ばれましたが、杉並区荻窪在住の近衛文麿元首相より「井の頭街道」と命名され、後に東京都より「井ノ頭通り」と定められました。現在は「井の頭通り」の表示も使われています。前回は和泉二丁目交差点まで歩きました。

今回は和泉二丁目交差点から終点の関前五丁目交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[和泉二丁目交差点] 杉並区和泉二丁目 最寄駅 京王線 明大前駅



和泉二丁目交差点（写真左）を直進します。右へ行く道は表示がなかったの
で、家に戻り地図を見ると水道道路（都
道 431 号線）の名で笹塚方面へ向か
います。

[神泉橋]

杉並区和泉二丁目

最寄駅 京王線 明大前駅

神泉橋（写真下左）です。下は神田川（写真下右）が流れています。



[荒玉水道交差点]

杉並区永福四丁目

最寄駅 京王井の頭線 永福町駅



左側は京王井の頭線が走っています。
永福町駅入口交差点を過ぎると、荒玉水
道交差点（写真左）で荒玉水道道路（都
道 428 号線）と交差します。左へ行くと
桜上水方面、右へ行くと和田堀公園方面
です。

[西永福交差点] 杉並区永福町三丁目

最寄駅 京王井の頭線 西永福駅

西永福交差点（写真下右）で方南通り（都道 14 号線）と交差します。井ノ頭通りは直進、右へ行くと方南町方面です。方南通りはここが起点・終点で新宿中央公園方面に向かいます。



[浜田山駅入口交差点] 杉並区浜田山四丁目

最寄駅 京王井の頭線 浜田山駅

浜田山駅入口交差点（写真下右）で人見街道（都道 14 号線）が左へ分岐します。人見街道とは府中市八幡と杉並区大宮八幡を結ぶ古くからの街道で、江戸以前にあった「人見村」を通る道であったことに由来するとのこと。人見街道は久我山方面へ向かいます。井ノ頭通りは右の道を直進します。



[環八井の頭交差点] 杉並区高井戸東四丁目

最寄駅 京王井の頭線 高井戸駅

環八井の頭交差点（写真下右）で環八通り（都道 311 号線）と交差します。左へ行くと瀬田方面、右へ行くと荻窪方面です。上は環八通りの高井戸北陸橋です。井ノ頭通りは直進します。交差点先から都道 7 号線に変わりました。



[吉祥寺駅前交差点] 武蔵野市吉祥寺南町一丁目

最寄駅 JR 中央線 吉祥寺駅

武蔵野市に入り、京王井の頭線のガード（写真下左）をくぐると、右側が JR 中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅です。さらに進むと吉祥寺駅前交差点（写真下右）で、吉祥寺通りと交差します。左へ行くと井の頭恩賜公園、右へ行くと練馬区立野町方面です。吉祥寺には「吉祥寺」というお寺はありません。水道橋（現在は駒込）にあった「諏訪山吉祥寺」を中心とした門前町の人々が江戸の大火で被災して、この地に入植して吉祥寺を地名にしたとのこと。



井の頭池と一帯の林は江戸時代 幕府の御用林、明治維新後は東京府が買収、宮内省の御用林となり、一部を東京市へ下賜され、1917 年（大正 6 年）5 月

「井の頭恩賜公園」として開園されました。井の頭池の周辺は桜と紅葉の名所です。今回は立ち寄りませんので、寅さん歩 253 東京の桜 2019—2 及び寅さん歩 253 東京の紅葉・黄葉—5 をご覧ください。

[成蹊通り交差点] 武蔵野市吉祥寺本町三丁目

最寄駅 JR 中央線 三鷹駅



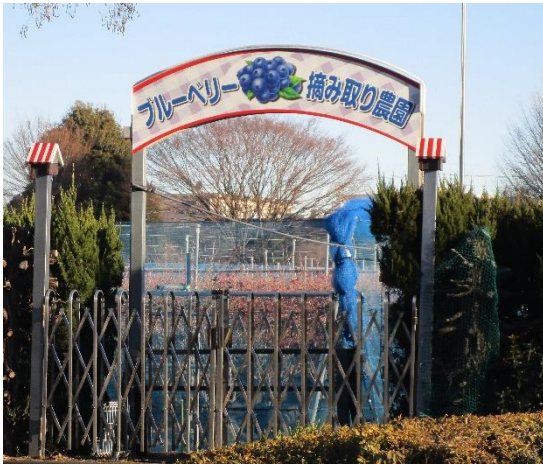
成蹊通り交差点（写真左）は左へ行くと JR 中央線線路方面、右へ行くと成蹊大学方面です。成蹊大学は 1914 年（大正 3 年）池袋からこの地へ移りました。寅さん歩 219 東京の学食めぐり—24 をご覧ください。

[中央通り交差点] 武蔵野市中町二丁目 最寄駅 JR 中央線 三鷹駅

中央通り交差点（写真下右）で三鷹通り（都道 121 号線）と交差します。左へ行くと三鷹方面、右へ行くと武蔵野方面です。



更に進むと右側にブルーベリー摘み取り農園（写真下左右）がありました。広い農園で機会があれば摘み取りに来たいですね。



[関前一丁目交差点] 武蔵野市関前一丁目

最寄駅 JR中央線 武蔵境駅

関前一丁目交差点（写真下右）で新武蔵境通りと交差します。交差点左前方は「境浄水場」です。



写真上左で切れてしまった下の部分は新武蔵境通りで左は都道12号線で武蔵境方面、右へ行くと西東京方面で井ノ頭通り（都道7号線）は直進です。

[浄水場西交差点] 武蔵野市関前三丁目

最寄駅 JR中央線 武蔵境駅

浄水場西交差点（写真下右）で武蔵境通り（都道12号線）と交差します。左へ行くと武蔵境方面、右へ行くと西東京方面です。境浄水場はこの交差点まで続きました。

境浄水場は1924年（大正13年）3月30日通水、原水は村山貯水池（多摩湖）や山口浄水場（狭山湖）から引き入れ、緩速濾過方式の浄水場では日本最大規模とのこと。



[関前五丁目交差点] 武蔵野市関前五丁目

最寄駅 JR 中央線 武蔵境駅

関前五丁目交差点（写真下右）が井ノ頭通りの終点です。都道7号線は右から来た五日市街道となり、五日市（合併して現在はあきる野市）まで続きます。



これにて井ノ頭通りを起点から終点まで歩きました。水道道路らしく直線の道を歩きました。吉祥寺駅以降はひたすら遠くまで歩いてきたという印象が強かったです。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。

寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩 379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。連絡を取り合って、どこかの宿でバーチャル宴会をしたいですね。皆様の旅の進度のご連絡をお待ちしています。

2023年8月8日お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年8月18日藤沢宿（現在の神奈川県藤沢市）（江戸日本橋から50km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左上は「藤沢遊行寺」です。藤沢は江ノ島への分岐点に位置します。手前に見える江ノ島弁財天の鳥居をくぐれば一里で江ノ島です。境川の向こうに見えるのは時宗総本山の遊行寺です。

写真上右は「ゆたか丼丸」の「江ノ島丼」です。「ゆたか丼丸」はお持ち帰り弁当専門チェーン店なので寅次郎、東京都文京区大塚で買いました。しらすの上にマグロ、サーモン、イクラ、小エビがのっています。



写真上は湘南しらすがたっぷりの「しらす弁当」です。寅次郎、J R 東京駅構内の「駅弁屋祭」で買いました。

藤沢は寅次郎の生まれ育った地です（70歳で東京都豊島区へ移住）。実家は東海道に面した藤沢宿本陣の前にあった酒屋「牧野屋」（現在の本町郵便局の場所）で、隣は旅籠「小松屋」でした。小松屋の主人は伊豆から呼び寄せた飯盛り女たちを近くの英勝寺に手厚く葬ったことで有名です。

寅次郎の実家の家紋は小田原北条の三つ鱗です。ご先祖様は北条一族の傍系で出城の小机城（現在の横浜市港北区小机町）にいて小田原城が豊臣秀吉に攻められると小田原に向かいますが、現在の藤沢市大庭まで来たら小田原城落城を知り、武士を捨て農民となりました。東海道が整備されると大庭（現在の芙蓉カントリークラブ一帯）から東海道沿いに出てきて酒屋を始めたと言い伝えられています。北条姓は名乗れないので平家をご先祖様なので、平家が野に下った「平野」と名乗ったと聞きましたが、真偽のほど不明です。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝